令和5年度 よく寄せられる質問

福島県立郡山萌世高等学校（定時制課程）

I 教育課程関係

1 昼間主コースと夜間主コースとでは授業に違いがありますか。

いずれのコースにおいても、必修科目については学習内容の違いはありません。ただし、学び方が異なります。

昼間主コースは、1日に6時間の授業を受けます。1年次の国語・数学・英語はクラスを分割して授業を行い、2・3年次では多様な選択科目を設定するなど、少人数で授業を受ける機会を多く設けているのが特徴です。そのため、一人ひとりの個性や学力に応じたきめ細やかな指導を受けることができます。

夜間主コースは、17時30分に授業が始まり、1日に4時間の授業を受けます。そのため、働きながら学びたい人や、自分のペースでじっくり学びたい人に適しています。選択授業はありませんが、基礎学力を身に付ける科目、社会人として生かせる能力を身に付ける科目など、夜間主コースならではの授業を受けることができます。

2 単位制とはどのような制度ですか。

本校は単位制高校です。単位制とは、学年による区分を設けず、決められた単位数を修得すれば卒業できる制度です。もし履修・修得できない科目があったとしても進級できますが、決められた単位数に達するまでは卒業できません。

本校は74単位の修得を卒業要件としており、1日6時間の授業を受ける昼間主コースは、全日制高校と同じく3年で卒業することができます。一方、夜間主コースは1日4時間の授業なので、4年で卒業することが基本となります。なお、制度上3年で卒業することも可能ですが、この場合毎日、夜間の授業だけでなく、昼間の時間帯の科目も数多く履修する必要があるため、長時間にわたって授業を受けるようになります。詳細は、出願前に本校にお問い合わせください。

II 入学者選抜関係

1 現在、不登校傾向で保健室登校をしていますが、そのような生徒でも入学は可能ですか。

本県の選抜方法において、身体状況については、特に就学不能と認められる者を除いては差等を付ける資料としないことになっています。

1 保護者と生徒のみなさまへ

受験の際に「自己申告書」を提出することができます。

※自己申告書は不登校による欠席日数が1年間で30日以上の者が提出できるとしていますが、30日未満の日数であっても希望する者は提出することができます。

2 中学校の先生方へ

長期欠席や保健室登校等がある場合には、可能な範囲で調査書に理由を明記してください。診断書提出の必要はありません。また、基礎疾患や発達障がいなどの事情があれば、そのことも記載していただければ本校としては助かります。

2 自己申告書の記載内容についてアドバイスをいただけますか。

正直に、事実をありのまま申告してください。医師による診断名があれば、それも記載してください。

なお、提出書類の記載内容に事実と相違している点が判明したときは、合格を取り消すことがあります。

3 発達障がいでのコミュニケーションがうまくとれません。面接で考慮していただけますか。

障がい等があれば、中学校の校長先生から本校校長に、原則として年内に連絡してください。その上で、入試や入学後に配慮すべきことがあれば、「受験上の配慮申請書」を中学校へ提出してください。中学校の先生を通して、「生活・学習の様子、配慮等に関する説明書」に基づく「受験上の配慮に関する通知書」をお送りします。他の受験生と不平等にならないことを前提に、可能な範囲で対応します。

4 どのような生徒を望みますか。

本校は、多様な生徒がそれぞれの学習経歴や生活時間に応じて学ぶことのできる学校として創設されました。

本校生徒となる大前提は、これまでの学習経歴や能力にかかわらず「高校で学びたい」という、主体的に学ぶ意欲です。

また、本校は社会のルールを本校のルールとしていることから、自らの生活を律することができる向上心を持っていることが必要です。これは、学年制をとる他の多くの高校以上に、単位制である本校で求められることです。

以上のことから、本校の「志願してほしい生徒像」を、「自らを律し主体的に学ぶ態度と向上心を持ち、自分の将来について明確な目標を有すること」としています。

5 特色選抜はどのようなものですか。

特色選抜とは、「志願してほしい生徒像」に応じて自分の志願する高校を主体的に選択し出願できる選抜です。

令和6年度入学者選抜における本校の特色選抜では、上記4を踏まえて、次のような生徒を求めています。

昼間主コース：学校^(注)の教育活動以外の場でこれまで実践してきた活動を、学業と両立させながら継続し発展させる意欲を有する者

夜間主コース：働きながら学ぶ意欲を有する者（アルバイトを含む）

なお、選抜は学力検査、特色選抜志願理由書、調査書、特色面接を資料として行います。また、募集定員枠は、昼間主コースは5%程度、夜間主コースは50%程度です。

(注) 学校の教育活動以外の場で実践してきた活動とは、次のような活動をイメージしています。いずれも、実際に本校生が実践してきたものです。

ヴァイオリン、ロッククライミング、詩吟、タップダンス、俳優、将棋、ボランティア活動

Ⅲ 在籍関係

1 入学後のコース変更は可能ですか。

入学後に昼間主コースから夜間主コースへなどのコース変更はできません。

2 定時制課程から本校通信制課程への転籍は可能ですか

年度末から5月にかけて、通信制課程へ転籍を希望する人のための試験（転籍試験）があります。転籍試験を受験・合格し、受講指導等を経れば、転籍することができます。

ただし、それ以外の時期の転籍はできません。通信制課程のどの学年に転籍できるかは、それまでに修得している単位数によって決まります。なお、転籍試験は書類審査と面接がありますが、必ず合格するとは限りません。

3 他校から本校定時制課程への転入はできますか。

原則として、在籍定員に欠員があり、保護者の転勤などに伴う一家転住が理由である場合に、転入学試験を実施しています。試験科目は国語・数学・英語及び面接です。

IV 進路関係

1 卒業生の進路状況はどのようなですか。

令和4年度卒業生の就職内定率は100%でした。県外に就職する生徒もいます。

また進学は、福島大学、東北芸術工科大学、東洋大学、日本大学、会津大学短期大学部、桜の聖母短期大学などに合格し、また看護専門学校など各種専門学校へも進学しています。

一人一人の希望に即して、それぞれの進路希望実現に向けて支援しています。

2 資格取得に向けたバックアップはありますか。

令和4年度は、ビジネス文書検定試験2級、漢字検定2級、英語検定準2級などの合格者を出しました。例年は情報処理検定（全商）などにも合格しています。これらに向けては、放課後等に課外や個別指導を丁寧に行っています。

なお、在学中に本校が指定した資格を取得した場合は、学期ごとに単位を認定しています。

V 学校生活

1 どのような防災等の安全対策がとられていますか。

本校の入るビッグアイは、制震構造の建造物です。東日本大震災の際も、建造物に被害はありませんでした。非常階段の使用訓練や防災避難訓練などを、ビッグアイの防災センターと連携しながら実施しています。

2 単位制にはどのようなメリット、デメリットがありますか。

〈メリット〉

- ・自分の進路希望や興味・関心に応じた科目選択ができる。
- ・自分の学習経歴や生活に応じた学び方ができる。
- ・自分のペースで学習を進めることができる。

〈デメリット〉

- ・自分の生活管理ができないと単位取得が困難になりやすい。
- ・選択授業が多いため、一緒に授業を受けるメンバーが流動的である。
- ・主体性がないと科目の選択に迷ってしまう。

3 部活動にはどのようなものがありますか。

他の全日制高校とほぼ同様の文化部・運動部があります。グラウンドやプールはありませんが、運動部はビル8階にあるアリーナ（体育館）を使用して活動しています。部活動の種類などについては、学校パンフレットや本校ホームページを参考にしてください。

4 修学旅行はありますか。どこへ行くのですか。

毎年2年次で実施しています。平成29年度は沖縄、平成30年度以降は関西方面へ行っています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症への懸念から中止となり、令和3年度は河口湖畔に変更して実施しましたが、令和4年度は予定通り関西方面への旅行を実施することができました。

5 仕事をしながら通学する生徒はどのくらいいますか。

アルバイトをしている生徒が4割程度います。定職に就きながら学んでいる生徒は、ここ数年はいません。

6 入学時、どのくらいのお金がかかりますか。

令和4年度の場合、次のとおりです。

費 目	昼間主コース	夜間主コース
入学時諸納金（各種入会金、学級費等）	17,000円	18,000円
教科書・運動着等	30,000円	25,000円
諸会費（PTA会費、後援会費、生徒会費）	28,000円	22,000円
計	75,000円	65,000円

7 給食があると聞きましたが、誰でも利用できますか。

8階に食堂があり、現在、夜間主コースの生徒を対象に食券制の給食を実施しています（事前申し込みで任意）。栄養のバランスを考えた献立を提供しています。